

胆振の研究活動

研修部副部長

白老町立虎杖小学校

校長 葛 西 正 敏

1. はじめに

胆振管内校長会は、4市7町の13の公立小学校長128名で組織されている。管内の課題解決に向け管内の研究計画に基づき、各市町で実践的な研究を推進するとともに各種の研修活動に取り組んでいる。校長としての職能向上を目指し研究活動を進めている。今年度は、胆振校長会一丸となって全日中北海道苫小牧大会を成功させようと連携を深めながら取り組んできたところである。



2. 研究活動

(1) 活動方針

教育基本法や学習指導要領の理念と管内校長会の基本姿勢・活動方針を生かし、教育改革への課題解決と創意ある学校経営を目指す校長の在り方を求める。そのために、校長会の絆を一層強めるとともに研修と実践を強化しながら、各学校が地域の期待に応え、信頼される学校づくりを推進する。

(2) 基本主題

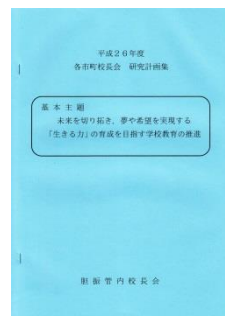
『未来を切り拓き、夢や希望を実現する「生きる力」の育成を目指す学校教育の推進』

(3) 本年度の研究推進計画

- ① 全日中苫小牧大会の開催に向け、胆振管内校長会が一丸となって準備・運営に当たるとともに、研究大会の成果を学校経営に反映する。
- ② 基本主題の下、第6期研究計画（4か年継続研究）の3年次として、昨年度の成果と課題を踏まえ、その改善策の検討と新たな課題の明確化に努める。

平成26年度は、全日中苫小牧大会開催の関係で、「胆振管内校長会教育研究大会」を開催しないため、「平成25年度第15回胆振管内校長会教育研究大会」の成果と課題を踏まえ、各市町で研究を推進する。

- ③ 第6期研究計画の内容を踏まえて研究を推進する。
- ④ 「平成25年度第15回胆振管内校長会教育研究大会」の『研究集録』に掲載している各分科会の成果と課題を踏まえて研究を推進する。
- ⑤ 上記①②を踏まえ、「校長の責務」という視点から協議し、職能の向上を図る。
- ⑥ 各市町の研究の充実を図るために、「各市町研究計画」を作成し、研究を交流する。



⑦ 全連小や道小，全日中や道中，各市町校長会との連携を密にし，一貫性のある教育研究の推進を図るとともに，研究成果の還流・交流に努める。

*当該教育研究大会の参加要請を積極的に受け止め，多くの会員の参加を目指す。

*提言者や司会者等については，会員の個人的負担にならないよう，組織的に対応する。

*参加者の感想・意見等の交流を大切にする。

*今年度の開催予定は，次の通りである。

○ 道小日高大会（新冠町） 9月12日（金）～13日（土）

参加者54名 提言書：中村 完（登別市幌別西小学校長）

○ 全連小さいたま大会（さいたま市） 10月23日（木）～24日（金）

参加者：9名

○ 全日中北海道大会（苫小牧市） 10月 8日（水）～10日（金）

・全国から2500名を超える参加者，運営委員80名

・8分科会

・記念講演 三國 清三 氏（ホテル・ドゥ・ミクニ オーナーシェフ）

『地産地消と食育について』～味覚と心は気持ちを豊かにする～

・アトラクション 室蘭市立翔陽中学校ジャズバンド部 ジャズ演奏



⑧ 道小地区校長会活性化支援事業に取り組む。

① 研修派遣事業 ～反保 秀規（苫小牧市立若草小学校長）

② 研究実践交流事業～室蘭市小学校校長会

⑨ その他

○管内教頭会研究大会の助言者として胆振管内研修部6名が担当した。

○研修部報「いぶり」を年間5号発行する。

学校名	校長
苫小牧市立若草小学校	反保 秀規
室蘭市立翔陽小学校	...
...	...

3. おわりに

今年度は，全日中北海道苫小牧大会の成功を目指し，胆振校長会の総力を結集し，準備，運営に努めた。組織の連携強化と諸問題の解決に努めることができた。第6期研究計画（4か年継続研究）では，3年次として昨年度の課題を踏まえ，各市町で研究を推進しているところである。

胆振は子どもの減少で統廃合が進んでいる。次年度も学校数が減り，校長の数も減る。各市町の校長会が結束し，胆振全体の校長会の力を付けていくことが，喫緊の課題である学力や体力の向上，いじめがなく思いやりの心をもった子の育成につながると考える。今後も全連小や道小，全日中や道中との連携を深め研究を進めていく。